

民生病院常任委員会審査概要報告書

委員長 篠井 哲治

- I 開催年月日 令和 6 年 11 月 15 日（金）
II 会議時間 午前 10 時 00 分～午前 10 時 18 分
III 出席委員等〔出席委員〕◎篠井 哲治 ○梅島 清香 山上 尊士
林 貴文 石須 大雄 坂林 永喜
藪中 一夫 曾田 康司 狩野 安郎
（◎…委員長 ○…副委員長）
〔議長〕 本田 利麻
〔説明員〕 別紙名簿のとおり（福島市民病院長、山本生活環境文化部次長・参事が公務のため欠席）
〔委員外議員〕 なし
〔事務局職員〕 高嶋 史恵 島田 輝 堀 泰平
〔傍聴者〕 なし

IV 審査の概要

1 報告事項について

〈 当局から、次の報告・説明があった。 〉

〔生活環境文化部〕

- (1) 「剪定枝回収リサイクル向上実証実験」の結果について
- (2) 地域おこし協力隊員（観光分野）の募集について

〈 委員から、次のとおり質疑等があった。 〉

（ 以下、質疑・質問内容は ○ 、答弁内容は △ で表示 ）

【「剪定枝回収リサイクル向上実証実験」の結果について】

- 今回の実証実験の結果では、持込台数が約 200 台に対してチップ化の希望は 2 件と約 1 %に留まっている。今後、チップ化を含め、リサイクル率向上を図る取組を進めていただきたい。（要望）
- △ リサイクル率向上を図ることを目指していたが、大量の剪定枝の持ち込みがあり、エコ・クリーンセンターで処理することになってしまった。リサイクルの手法としては、最も実施しやすいものとしてサーマルリサイクルがあるが、マテリアルリサ

イクルという方法もある。今回、チップ化の希望は2件に留まったが、当初の段階からチップ化を実施していることについて、より周知を図る必要があると感じた。また、堆肥化など、他のリサイクル方法についても今後検討し、リサイクル率向上や効果的なリサイクルに努めていきたい。

- 予想以上に持ち込みが多く、会場周辺では渋滞が発生したとのことだが、アンケート結果では、実施希望時期について、10月から11月が102名、4月から5月が51名となっている。4月から5月の実施についても一定の需要があり、渋滞緩和への対応として、例えば4月から5月と、10月から11月にそれぞれ1回ずつ、合計2回開催するということも考えられるが、見解は。
- △ 実証実験の結果、剪定枝の回収ニーズが非常に多いことが分かった。一方で、本市長慶寺のストックヤードでは、常に剪定枝の持ち込みができる状態を整えている。持ち込みのしやすさという面だけでなく、大量の剪定枝を回収して効率的にリサイクルを実施する必要がある。今回ニーズが多かった時期も念頭に置き、今後、よりよい実施方法について検討し、市民に愛される事業になるよう進めていきたい。
- 剪定枝のリサイクルは非常に大切な取組であると思っている。今回の実証実験の教訓を踏まえ、周辺住民の方々に極力迷惑がかからない形で実施していただきたい。(要望)
- 今回の実証実験では、受入時間が午前9時から正午までとなっていた。チップ化には時間を要することは分かっているが、渋滞の緩和や利用者の地域が分散していることも考慮し、実施時期だけでなく、実施場所についても複数箇所とすることを検討していただきたい。(要望)
- △ 今回の実証実験では、実施場所が1箇所、受入時間も限られていたことから、一極に集中したことが渋滞発生 of 大きな原因であると考えている。今後、実施場所の分散化や、駐車スペースを確保できるより適当な場所の選定に加え、受入時間、複数回の開催などについても検討し、周辺住民の方々にできる限り迷惑のかからない方法を見出していきたい。

〔福祉保健部〕

- 。こども誰でも通園制度試行的事業の実施状況について

〈 委員から、次のとおり質疑等があった。 〉

【こども誰でも通園制度試行的事業の実施状況について】

- 令和6年11月13日時点の申込者数については、0歳児が7人、1歳児が7人とのことだが、市内全域から募集している中で、どの地域からの申込みが多いのか。また、利用定員は何名までとなっているのか。
- △ 市内全域から問合せをいただいているが、現在の申込者については、実施施設のおか保育園の近隣地域の方が多い状況である。また、利用定員は1日1時間あたり3名程度としているが、現時点では最大で2名の利用となっている。
- 本事業の周知方法は。

△ 広報紙「市民と市政」や市公式ホームページ、市公式LINE、ねねットたかおか等への掲載のほか、親子連れが来られる子育て支援センターで資料を配布している。

○ 利用者からの反応が良いことから、本事業を広く周知し、本当に必要としている方々に利用していただけるよう取組を進めていただきたい。一方で、実施施設である保育所での負担などの課題点についても整理して対応に当たり、より良い事業となるよう努めていただきたい。(要望)

2 その他

〈 委員から、質疑等はなかった。 〉

〈 当局からの報告はなかった。 〉

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

民生病院常任委員会 当局説明員（２８名）

生活環境文化部長	二 塚 英 克	市民病院長	福 島 亘
生活環境文化部理事	長 久 洋 樹	市民病院事務局長	柴 田 文 夫
生活環境文化部次長 参事	山 本 真 弘	総務課長	中 保 哲 憲
生活環境文化部次長 地域課長	大 野 洋 靖	医事課長	池 守 凡 子
市民生活課長	松 本 武 司		
環境政策課長	室 谷 智	消防長	浦 島 章 浩
文化国際課長	吉 本 恭 子	消防本部次長	有 澤 智 文
男女平等・共同参画課長	竹 内 文 雄	消防本部次長 総務課長	布 橋 隆 男
市民課長	布 橋 みちる	予防課長	田 中 秀 和
		警防課長	春 日 裕 治
福祉保健部長	戸 田 龍 太 郎	通信指令課長	沙 魚 川 文 春
福祉保健部次長	上 森 智 美		
福祉保健部次長 こども家庭センター長	長 谷 川 聡		
社会福祉課長	関 原 総 臣		
社会福祉課 福祉連携推進室長	大 野 美 喜 子		
子ども・子育て課長 保育・幼稚園室長	森 川 朋 子		
長寿福祉課長	徳 市 直 之		
保険年金課長	尾 崎 正 和		
健康増進課長	竹 田 裕 子		